

2学期 始業式

校長の話

言葉のちから、「ありがとう」は幸せの「はじまり」について話します。
昔の人は、良い言葉を発すれば良いことが、不吉な言葉を口にするとうまくないことが起こると、「言霊」を信じていました。これは偶然ではありません。人が発する言葉は無意識のうちに潜在意識に記憶され、その蓄積されたデータに基づいて行動するからです。もしあなたがネガティブな言葉を使っているのであれば、「まだ大丈夫、これからだ!」とポジティブな言葉に言い換えましょう。

次に「ありがとう」という言葉を紹介します。

人は自然と「ありがとう」を言います。氣遣いに対する感謝の言葉です。感謝を言葉で表すと、相手も「喜んでもらえて良かった」と嬉しくなります。これは、自分の幸せが他人の幸せとなり、その幸せがまた自分の幸せにつながる。「ありがとう」の5文字には不思議な働きや力があるのです。

自分の意志を言葉によって相手に伝え、目に見えないものを具体化し、自分の心を奮い立たせることが出来るのです。「ありがとう」は感謝を伝えるだけでなく、自分やその周りに力を与えてくれる言葉です。

それぞれの場面で「ありがとう」を伝えてくれる、皆さんの頑張りに期待しています。



	事業所数			求人数		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
管内	156	176	207	249	289	349
県内	196	204	266	260	320	376
県外	50	50	73	67	84	114
合計	402	430	546	576	693	839

今年度の求人状況

本年度の求人状況はコロナ禍の影響も少なく、3年生の就職希望者（公務員希望含む）に対し、約7.6倍と大変好調です。

3年生は夏休み前から履歴書を書く練習や面接練習をしています。就職試験は9月16日（金）から順次開始されますが、良い結果が得られるよう、しっかりと準備をしてほしいと思います。



東北ボランティアオンライン講演会

7月29日から2泊で行く予定だったボランティアですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、残念ながら現地へ行くことが出来なくなりました。そのため、現地ワタマスマイル代表の菅野芳春様よりボランティアについて、講演をして頂きました。

菅野さんの経験豊富な体験を元にボランティア活動の心得やボランティアは人の為であり自分の為でもある（お互い様）、with コロナの今にできることを考え見つける、私達には可能性があり小さな積み重ねが大きな結果をもたらすこと等など、人間力を育むボランティア活動を興味深く話して頂きました。

また、北播磨消防署の消防士で東北の現地へ任務で行かれた経験をもつ高瀬さんにもこの講演にお越しいただき、体験談や災害地のリアルな写真等も見せていただきました。「ボランティアと仕事とでは大きく意味が違うが、相手を思う気持ちには変わりはない。人が困っているとき、小さなことでも出来る事を迅速に行う必要がある。」とメッセージを頂きました。ありがとうございました。



表彰伝達

総合技術科

第17回若年者ものづくり競技大会 全国大会

木材加工職種

金賞・厚生労働大臣賞 櫻井 健吾

吹奏楽部

第69回兵庫県吹奏楽コンクール東播地区大会

高等学校S部門

金賞 西脇工業高校

陸上競技部

第75回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会

男子1500m 幸宝

男子3000m 大智

男子5000m 天晴

男子10000m 幸宝

男子15000m 幸宝

男子20000m 幸宝

男子25000m 幸宝



電気科講演会

7月14日（木）、電気科の2年生を対象に、2019年卒業生で現在、関西電気保安協会に勤務している先輩が、校内の高圧受電設備についての講習をしてくれました。今後の高校生活や進路決定に生かして欲しいと思います。

